



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第127号

R5.9.1

文責 中西 勉



9月1日は「防災の日」 ～避難訓練を実施～

今日9月1日は「防災の日」です。ただ、先日、日本赤十字社が行った調査によれば、9月1日が「防災の日」に制定された由来を「知らない」と答えた人は49%に上り、特に、20代や30代の若い世代でその割合が高かったそうです。

9月1日が「防災の日」に制定されたのは、今からちょうど100年前の1923(大正12)年9月1日に起きた「関東大震災」に由来します。午前11時58分に相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9の大地震が発生し、関東地方を中心に死者・行方不明者は10万5385人に上りました。そのうち約9割の方は、地震の後に各地で発生した火災によって命を落としたと言われていています。そのため、地震を逃れることができたとしても、その後の火災に備えなければならぬことを、私たちは心得ておく必要があります。



▲関東大震災で焼失した東京日本橋通り周辺 (Yahoo News より)

本日、本校では地震を想定した避難訓練を実施しました。校内放送で緊急地震速報が流れると、子供たちは担任の指示で一斉に机の下に潜り、身の安全を確保しました。そして、地震が収まった後で、運動場に落ち着いて避難をすることができました。避難完了後、私から子供たちに、「防災の日」が設けられたわけや地震の後には火災にも気を付けなければいけないことを話しました。万一の場合に落ち着いて行動できるように、今後も指導を続けていきたいと思えます。



▲素早く身の安全を確保する1年生



▲非常階段から避難する6年生



「防災の日」の給食は・・・

「防災の日」に合わせ、今日は非常食による「防災給食」でした。救給カレー、おさかなソーセージ、あおのりツナポテト、ライスクッキー、牛乳の5品が提供されましたが、アレルギーにも配慮されており、味も非常食とは思えないほどよく工夫されていました。

今日の「防災給食」を話題にしながら、災害への備えについて、お子さんと一緒に考えてみられてはいかがでしょうか。



▲非常食で構成された防災給食